

参議院選挙
投票日

日時：7月10日(日)

ちば労連

ホームページ <http://chibarouren.jp/> メール chibarouren@axel.ocn.ne.jp

第 295 号 URL 版 2016 年 6 月 30 日

発行 千葉県労働組合連合会

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉センター

電話 043(225)5576 FAX 043 (221) 0138

発行人 本原康雄 定価 20 円

【1 面】

7月10日は選挙に行こう!

参議院選挙で平和勢力を多数に

第二次安倍政権が発足してから三年半が経過しました。この間、安倍政権はかつてないほどに憲法をないがしろにしてきました。国民の半数以上が反対する安保関連法＝戦争法を強行成立させるなど、民意とは真逆の政治を進めています。来月 10 日投票日の参議院選挙では、立憲主義を取り戻すために何としても安倍自公政権と補完勢力を少数派に追いこむことが必要です。

オール千葉の会始動!



オール千葉の宣伝行動 (5月24日)

千葉県では4月19日、安保関連法に反対する県内15団体が「安保法廃止! 立憲主義・民主主義をとりもどすオール千葉の会 (安保法廃止! オール千葉)」を結成しました。

国会周辺での抗議行動などを主導した「戦争させない・9条壊すな! 総がかり行動実行委員会」のように、県内で統一的な運動をするために結成されました。千葉労連も参加する「憲法を守り・いかす千葉県共同センター」等、三団体が事務局となり、大学教職員や母親、若手弁護士、九条の会など、現在では20の団体が参加しています。

5月24日に千葉駅で行われた宣伝行動には、全体で100人以上が参加し、

民進党、日本共産党、社会民主党、生活の党の野党4党の代表も参加しました。マイクを握って、立憲主義・民主主義・平和主義の回復を訴えました。

市川で市民集会開催

6 月 12 日に市川総がかり行動実行委員会が主催の「安
保法制の廃止を求める 6・12 市川市民集会」が開催され
ました。近隣市町村からも多くの人が集結、約 700 人
が参加しました。

集会の冒頭は、オール千葉からのあいさつ。その後民
進党の小西ひろゆき参議院議員、日本共産党の浅野ふみ
子参議院予定候補者から連帯あいさつをうけました。

最後に集会宣言案が読み上げられ採択された後、本八
幡コースと市川コースの二手に分かれてデモをおこない、
それぞれの解散地ではリレートークが行われました。



700人参加の市川集会 (6月12日)

「八方ふさがり」のアベノミクス NO !

第2次安倍政権3年半のアベノミクスは当初から国民だましの手口でしたが、今や八方ふさがりです。
それなのに、安倍政権は7月参議院選で性懲りもなく、ペラペラとコワダカに「アベノミクス推進」と
叫んでいます。

アベノミクスの3年半はなんだったのでしょうか？

その1. 円安・インフレ・株価操作で、大企業・大富豪は大もうけ、あげくはタックヘイブンに資産隠
し。99%の庶民は言う「大企業・大富豪はまともに税金払え！」と。

その2. 年金積立金の株価運用で国民の財産7兆円以上の大損。

その3以下、たくさんありますので表にします。

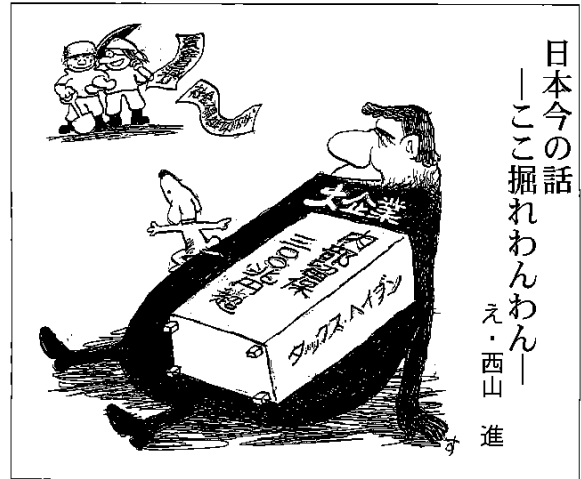
1%の大富豪のための「アベノミクス」	▶	99%の庶民は言う
消費税8%から10%に大增税、 そして延期のゴマカシ	▶	延期じゃなく中止だ！
実質賃金は20年間下がり続けて、 過去最低	▶	働けど働けど…、 我が暮らし楽にならざり
非正規雇用が際限なく拡大、 次はただ働きと解雇自由化	▶	まともに働かせろ！
年金も医療・介護も保育も全面改悪	▶	〇〇〇〇は私だ！
原発再稼働そして輸出、 福島自己責任を放棄	▶	原発ゼロ・自然再生 エネルギーに転換しろ！
米日財界のためのTPP、協定の 中身知らせず国会承認ごり押し	▶	ただちに撤回！

7. 10参議院選で99%の庶民のための政治へ！

波 涛

食品にカビが生えやすいジメジメした時季だ。カビなどの微生物はどこにでもおり、その活動で食品などの有機物が分解され、時には有害物質などを形成する。▼一方、微生物の働きを有益に活用することも古来から行われてきた。納豆菌は稲わらに普通に生息している。食品発酵に有効なカビを中心にした微生物を繁殖させたものを麴(こうじ)と呼び、大切にしてきた。▼微生物の活動結果が、人間との関係から有益なものを「発酵」、食品に適さない場合には「腐敗」となる。▼世の中のできごとに対して「腐敗」は思い当たることが多い。しかし「発酵」はどうか。憲法と立憲主義は、人間にとって有益な「発酵」の軸だ。

食品にカビが生えやすいジメジメした時季だ。カビなどの微生物はどこにでもおり、その活動で食品などの有機物が分解され、時には有害物質などを形成する。▼一方、微生物の働きを有益に活用することも古来から行われてきた。納豆菌は稲わらに普通に生息している。食品発酵に有効なカビを中心にした微生物を繁殖させたものを麴(こうじ)と呼び、大切にしてきた。▼微生物の活動結果が、人間との関係から有益なものを「発酵」、食品に適さない場合には「腐敗」となる。▼世の中のできごとに対して「腐敗」は思い当たることが多い。しかし「発酵」はどうか。憲法と立憲主義は、人間にとって有益な「発酵」の軸だ。



【2面】

関ブロ青年企画に 103 人が結集 地域を超えて青年が繋がる

5月21~22日(土・日)に1泊2日で青年交流企画『JOYNET』(=ジョイント)が開催されました。ジョイント(つなぐ)の本来の意味に加え、JOY(喜び・楽しみ)のNET(ネットワーク)を広げようという思いが込められた企画。全労連の関東甲信越ブロックの青年が一堂に集う行事です。

今年は8都県103人(内、千葉8人)の参加で常陸大宮・大洗で開催。医療関係、自治体職員、教員、建設従事者など、幅広い職種の青年たちが職場と地域を越えて交流し、親睦と繋がりを深めました。



関東甲信越の青年が茨城に結集

参加者を8つの班に分けて、職場も地域もバラバラのメンバーで2日間を通して行動しました。初めて顔を合わせた青年たちでしたが、班対抗レクリエーションや、夕食、交流会、地引き網などを協力し合うことで、すぐに打ち解けることができました。

職場を超えた交流が魅力

「ジョイントの楽しみは、他の県や違う職種の人と交流ができることが大きな魅力」と話す小沢義憲さん(29)は前回(2年前)に続いての参加。小沢さんは4年前の医労連青年部の再結成から青年部長として奮闘を続けています。『青年が楽しく、集まる組織にすること』を目標に、屋形船や“普通じゃ味わえないでっかい行事”を企画しています。毎年おこなう新人歓迎会へも40人を超える青年が集まるまでになりました。青年部を立ち上げた以上は、さらに大きく広げていきたいと、強い向上意欲をもっています。

2年前の『ジョイント』では運命の出会いもあり、矢澤純さん(千葉労連・事務局次長)と知り合う

ことができました。そして、職種の枠を超えた仲間が増えた小沢さんは「組合運動ゼロ、知識ゼロだった自分が成長できたのはジョイントのおかげ」と話します。

医労連青年部の活性化とともに、小さな枠にとらわれずに、みんなが元気に集まる青年の活動を展望しています。

最賃運動の重要性を実感

自治体キャラバン懇談会を実施



自治体と懇談の様子

千葉労連は 5 月 16～23 日に、毎年実施している自治体キャラバンに取り組みました。

今年で 10 回目となる今回のキャラバンは、例年通り 54 市町村と県に訪問し、主に自治体で働く労働者、特に非正規労働者の賃金をあげることと、公契約の適正化に向けての取り組み状況について懇談しました。

正規労働者の賃金は、県内のほとんどの自治体が「給与制度の総合的見直し」の影響や、財政難などの理由で引き下げられています。一方で非正規労働者の最低時給は、多くの自治体が引き上げたと回答しました。引き上げた理由のほとんどが「最低賃金が上がったから」というものでした。ある自治体では、一番低い職種の時給を 175 円引き上げて 1000 円にしたところ

もあり、参加者から「最低賃金引き上げ運動の重要性を改めて実感した」という感想がありました。

公契約条例制定については、制定に向けた検討をしていない自治体が多く、まだまだその重要性が浸透していません。参加者は、公共工事・清掃関係の委託業務で働く仲間の過酷な労働実態や、設計労務単価引き上げ分のお金が、末端まで流れていない実態を伝え、「これを解決するには公契約条例の制定や、発注した役所全体で適正化を図ることが必要だ」と訴えました。

悪徳ファンドの企業破壊は許さない

昭和ゴム労組霞が関総行動

5 月 20 日、第一最賃デー行動と平行して昭和ゴム労組第 6 弾霞ヶ関総行動が終日展開されました。

午前 9 時半、参議院会館での意思統一集会を開催。支援共闘会議・東京地評・千葉労連の代表に続き、日本共産党斉藤和子衆議院議員が駆けつけてあいさつ。当該労組から経過報告と決意表明がありました。

集会后、1 班 4～5 人の要請団を 10 組編成し、金融・財務衆参議員 66 人に要請。国会開会中とあって議員には会えませんでした。良く話を聞いてくれる秘書、イヤイヤな素振りを見せる秘書と対応は様々でしたが、要請団は、悪徳ファンド APF が昭和ゴムを食い物にしている事実を伝え、ファンド規制の必要性を熱心に訴えました。



5メートル横断幕を掲げ決意表明

その後、最賃行動に合流して、厚労省前行動、国会請願デモを取り組みました。15 時半からは、金融庁前宣伝行動と厚労省要請行動を実施。金融庁前宣伝行動では 5 メートルの横断幕を掲げ、50 人でチラシ配布と拡声器によるアピールを行い、「昭和 HD 比下益司会長への 41 億円課徴金審判」を毅然として進めることや、パナマ文書で明らかになった金の亡者による脱税や企業破壊を辞めさせるよう求めました。厚労省には昭和 HD による社会保険料の着服ともいえる未納問題を解決するよう要請しました。

18 時半、中央区内で全労連・全国一般東京地本と支援共闘会議の主催による決起集会が 130 人の参加で開催され、「親会社の団交応諾義務」と題した徳住弁護士の講演や、昭和ゴム労組の闘い、当日の行動報告などがあり、5・20 霞ヶ関総行動を終えました。